

JVM が 32 ビットか 64 ビットかを確認する

エラー「64 ビットの SWT ライブラリを 32 ビットの JVM で読み込めません」を解決するには、Java Virtual Machine (JVM) のアーキテクチャが Eclipse のインストールのアーキテクチャと一致していることを確認する必要があります。このエラーは、Eclipse が 64 ビットの SWT ライブラリを使用しようとしているが、JVM が 32 ビットであるため、互換性がないために発生します。以下に、Java のアーキテクチャを確認し、問題を修正するための手順を示します。

ステップ 1: Java が 32 ビットか 64 ビットかを確認する

JVM が 32 ビットか 64 ビットかを確認するには、以下の方法を使用できます。

方法 1: java -version を使用する

1. コマンドプロンプトを開く:
 - **Windows:** Win + R を押し、cmd と入力し、Enter キーを押します。
 - **Linux/Mac:** ターミナルを開きます。
2. 以下のコマンドを入力し、Enter キーを押します:

```
java -version
```

3. 出力を確認します:
 - **64 ビット JVM:** 出力には「64-Bit」が含まれます。例えば:

```
java version "1.8.0_311"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_311-b11)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.311-b11, mixed mode)
```

- **32 ビット JVM:** 出力には「64-Bit」が含まれません。例えば:

```
java version "1.8.0_311"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_311-b11)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 25.311-b11, mixed mode)
```

方法 2: java -d64 -version を使用する

1. コマンドプロンプトで以下を入力します:

```
java -d64 -version
```

2. 結果を解釈します:

- **64 ビット JVM:** 上記のようにバージョン情報が表示されます。
- **32 ビット JVM:** エラーが表示されます。例えば:

```
Unrecognized option: -d64
Error: Could not create the Java Virtual Machine.
Error: A fatal exception has occurred. Program will exit.
```

JVM が 32 ビットである場合（エラーが示唆しているように）、ステップ 2 に進んで不一致を修正します。

ステップ 2: アーキテクチャの不一致を解決する

この問題を解決するための 2 つのオプションがあります。

オプション 1: 64 ビット JVM をインストールする（推奨）

- **なぜ?:** 64 ビット JVM はパフォーマンスが良く、特にシステムが 64 ビットの場合、大きなメモリ割り当てをサポートします。

- **手順:**

1. 信頼できるソースから 64 ビットの JDK または JRE をダウンロードします。例えば:
 - Oracle JDK
 - OpenJDK
2. インストールし、インストールパスをメモします(例: C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_XXX\bin\javaw.exe)。
3. Eclipse を 64 ビット JVM を使用するように設定します:
 - Eclipse のインストールフォルダ（例: c:\eclipse\.eclipse.ini）にある eclipse.ini ファイルを開きます。
 - -vmargs セクションの前に以下の行を追加します:
-vm
C:/Program Files/Java/jdk1.8.0_XXX/bin/javaw.exe
 - 正しいパスが設定されていることを確認し、スラッシュを使用します。
4. ファイルを保存し、Eclipse を再起動します。

オプション 2: 32 ビット Eclipse に切り替える

- **なぜ?:** 32 ビット JVM を保持したい場合、互換性のある SWT ライブラリを持つ 32 ビット Eclipse を使用できます。

- **手順:**

1. Eclipse ダウンロードページから 32 ビットバージョンの Eclipse をダウンロードします。
 2. インストールし、既存の 32 ビット JVM で起動します。
-

重要なポイントを覚えておく

- **アーキテクチャを一致させる:** JVM と Eclipse は同じアーキテクチャである必要があります:
 - 64 ビット Eclipse には 64 ビット JVM が必要です。
 - 32 ビット Eclipse には 32 ビット JVM が必要です。
- **パスを二重確認する:** `eclipse.ini` を編集する場合、`javaw.exe` のパスが正しいことを確認します。
- **システムの互換性:** オペレーティングシステムが 64 ビットの場合、64 ビット JVM にアップグレードする方が長期的な解決策です。

これらの手順に従うことで、エラーを解決し、Eclipse をスムーズに動作させることができます！